

# 講義科目3-1

## 動物衛生学モデル・コア・カリキュラム

### 全体目標

産業動物を、アニマル・ウェルフェアの考え方に基づき生産性を確保しつつ健全に飼育し、安全な畜産物を得るために家畜衛生行政、飼育環境、疾病の予防・防除の重要性・必要性を学び、疾病を制御する基本的な方策を関連法規に基づき理解する。さらに、伴侶動物、展示動物、特用家畜、使役動物などの飼養・管理衛生を理解する。

### (1) 家畜衛生学の概要

#### 一般目標：

畜産と家畜衛生学の概要を学び、その意義と役割を理解する。

#### 到達目標：

- 1) 家畜衛生の歴史および畜産の概要を説明できる。
- △2) 家畜生産に関わる諸問題を公衆衛生・食品衛生のフードチェーンの観点から説明できる。
- 3) 産業動物をはじめとする動物疾病の現状を説明できる。

### (2) 家畜伝染性疾病的国内防疫と国際防疫

#### 一般目標：

家畜伝染性疾病的に対する国内防疫と国際防疫について理解する。

#### 到達目標：

- 1) 家畜伝染病予防法に基づく国内防疫の指針、防疫体制、国内および海外からの伝染病的の動向と疾病制御プログラムを説明できる。
- △2) 疾病予防・制御プログラムを基本とした危機管理計画を説明できる。
- 3) 海外からの伝染性疾病的の侵入防止体制を説明できる。
- 4) 特定家畜伝染病防疫指針を説明できる。
- 5) 国際獣疫事務局 (OIE) リストに記載された感染症の動向と OIE の役割を説明できる。

### (3) 生産衛生と農場 HACCP

#### 一般目標：

畜産食品・畜産物の生産段階における HACCP を活用した衛生管理手法 (農場 HACCP) による生産性的の向上と食品の安全性の確保について理解する。

#### 到達目標：

- 1) 農場 HACCP を説明できる。
- △2) 衛生管理ガイドラインを説明できる。
- △3) 飼養衛生管理基準と群管理を説明できる。

### (4) 飼育施設の消毒

#### 一般目標：

飼育施設の清掃・消毒の方法と使用する消毒薬について理解する。

#### 到達目標：

- 1) 家畜の飼育施設に適した清掃・消毒方法と使用する消毒薬を説明できる。
- △2) 家畜伝染病予防法第9条に定める消毒方法等の実施について説明できる。

### (5) 家畜用ワクチンとワクチネーションプログラム

#### 一般目標：

家畜用ワクチンの種類とワクチネーションプログラムについて理解する。

到達目標：

- 1) 家畜用ワクチンの種類、ワクチンの予防効果およびワクチネーションプログラムを説明できる。

## (6) 家畜の生産環境

一般目標：

家畜の環境要因と健康・疾病との関係を理解し、個体および集団を取り巻く環境諸要因の変化による生産性への影響について理解する。

到達目標：

- △1) 気温、湿度、風、光、音、空気中のガス濃度、海拔などの環境条件の変化が家畜の恒常性、発育、生産性に及ぼす影響について説明できる。
- 2) 暑熱・寒冷が家畜の生産性に及ぼす影響を説明できる。
- 3) 換気、飼育密度が家畜の健康と生産性に及ぼす影響を説明できる。
- 4) 適切な環境管理と畜舎の構造と設計を説明できる。
- 5) 畜舎の大気中における病原微生物と疾病発症率との関連性、その改善の要点を説明できる。

## (7) 放牧衛生

一般目標：

放牧された家畜における牧野環境と放牧病の関係を理解し、舎飼から放牧への馴致、入牧前後の健康診断、畜群監視と検診など放牧病対策について理解する。

到達目標：

- △1) 我が国における放牧の現状と特質、放牧環境要因を説明できる。
- 2) 放牧地の管理、放牧家畜の管理、放牧病とその対策を説明できる。

## (8) 輸送衛生

一般目標：

輸送される家畜の輸送環境・方法・時間と輸送関連疾患の関係を理解し、輸送病対策について理解する。

到達目標：

- △1) 家畜の輸送に関して留意すべき事項を説明でき

る。

- 2) 輸送病の発生要因・予防対策を説明できる。

## (9) 搾乳衛生

一般目標：

乳牛の重要疾病である乳房炎をコントロールするための搾乳法ならびに乳房炎の検査と予防法について理解する。

到達目標：

- △1) 正しい搾乳を理解し、搾乳方法を説明できる。
- 2) 乳房炎のリスク要因を理解し、その予防対策の要点を説明できる。

## (10) 豚の衛生管理

一般目標：

豚の飼養状況、豚の成育段階における衛生・飼養管理と SPF 養豚について理解する。

到達目標：

- 1) 豚の飼養状況・形態を説明できる。
- 2) 豚の成育段階における衛生管理と飼養管理を説明できる。
- △3) SPF 養豚を説明できる。

## (11) 特用家畜の衛生管理

一般目標：

特用家畜（イノシシ、鹿、ダチョウなど）の飼養状況・形態、衛生管理と疾病制御について理解する。

到達目標：

- △1) 特用家畜の飼養状況・形態と衛生管理を説明できる。

## (12) 伴侶動物と展示動物の衛生管理

一般目標：

伴侶動物、使役動物、展示動物の飼養・管理衛生の概要を理解する。

到達目標：

- △1) 伴侶動物と使役動物の管理衛生を説明できる。

- △2) 伴侶動物と使役動物のワクチネーションプログラムを説明できる。
- △3) 展示動物の飼養および保管に関する基準（環境省）を説明できる。

### (13) 家畜の中毒と飼料安全性

#### 一般目標：

家畜衛生の観点から家畜の中毒の発生機序を学び、飼料安全性と飼料添加物について理解する。

#### 到達目標：

- 1) 有毒植物、農薬、カビおよび細菌の毒素、変質した飼料などによる家畜の中毒を説明できる。
- 2) 飼料の安全性の確保および品質の改善に関する法律と残留基準制度（ポジティブリスト制）を説明できる。

### (14) 家畜排泄物と畜産環境管理ならびに環境保全型農業への取り組み

#### 一般目標：

家畜排泄物と畜産環境管理、家畜糞尿の管理・処理方法、資源利用等による環境保全型農業について理解する。

#### 到達目標：

- 1) 家畜排泄物処理など畜産環境管理を説明できる。
  - 2) 家畜ふん尿の管理・処理方法を説明できる。
- △3) 家畜排泄物の資源化利用と環境保全型農業、循環型社会構築にむけた取り組みを説明できる。